

やぶなべ

青森県立青森高等学校生物部 発行

誌名	やぶなべ
号/発行年/頁	27 / 1983 / 45-47
タイトル	グダリ沼の植物調査
著者名	若松智子・赤平佐知子

自然を見つめる やぶなべ会 (青森)

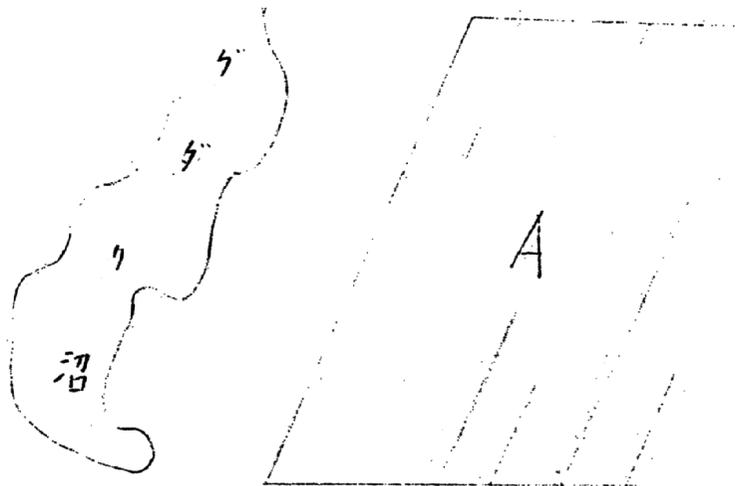
グダリ沼調査

◇群落調査◇

一定の面積内の生育状態や、植物の種類調査

[調査方法]

- ・グダリ沼と反対方向の草原で行った。
- ・どこか好きな所で、約1m²の四角形を作り、その四角内の植物の群落調査を行う。



- ・A 一帯の10ヵ所を調査した。

[データ]

(5 ... 100 ~ 75% 4 ... 75 ~ 50% 3 ... 50 ~ 25%)
(2 ... 25 ~ 12.5% 1 ... 12.5 ~ 0%)

=次へ=

植物名 \ 場所	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
① ヲナスビ	1		1							
② クローバー	2		2				1	5		1
③ コスカグサ	3	3	3	2	4	5	1		1	1
④ ミノボロスゲ	4	5	3	1	3	3	5	2	4	3
⑤ オオバコ	1								1	1
⑥ ドクムギ	1	1	1	2			1	1	1	1
⑦ カモガヤ			2	2			1	2	1	
⑧ シバ	5	5	5	5	5	2			1	2
⑨ ブタバナ				1		1				
⑩ ヒメスイド					2	1				
⑪ ナガハグサ								1	1	1
⑫ ギシギシ									2	1

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
頻度 (%)	20	50	90	100	30	80	50	80	20	20	30	20	
平均被度	0.2	1.1	2.3	3.3	0.3	0.9	0.8	3.0	0.2	0.3	0.3	0.3	

〔結果〕

- ・ミノボロスゲは全体に広がっていた。
- ・コスカグサは比較的全域に広がっているが、集中して生えている傾向がある。
- ・シバとドクムギは、全域に広がっているが、ドクムギは、分散して生えていて、1㎡当りの平均被度が低い。これに対して、シバは集中して生えているところと、そうでないところがあった。
- ・クローバーとカモガヤは、だいたいの所に生えていて、クローバーの方が集中して生えているところがあった。
- ・他の植物は、上記の植物とは違って、ところどころしか生えていなかった。

[感想]

- 。植物の名前を先生が説明して下さいたのに、なかなか覚えられませんでした。今でも覚えていません。あ、だめだ、なめと今、つくづく思っています。みずぎくの美しさ感動したことは覚えていますけど……。

(若松)

- 。やはり調査などもあまりやっていないし、植物の名前もなかなか覚えられません。今回は初めてということもあって、先生にいろいろ教えてもらってやりましたが、今度は自分たちできちんと計画を立て、もっといろいろな内容の調査もやりたいと思います。

(赤平)